

平成28年度 第9回栃木県支部役員会 議事録

日 時：平成29年2月11日（土） 9：30～12：00

場 所：まちぴあ 研修室B

1 役員出席状況

出席者：小黒幸市、黒須重富、福田一郎、久芳良則、稲葉 茂、羽山定治、宮下治、谷口雅昭、
篠原正美、川上寛児、田仲喜一郎、西谷元則

委任状提出者：羽山定治、亀田則男

2 審議事項

(1) 総務委員会

①H29年度収支計画・事業計画・補助申請について（黒須）

- ・配布資料を本部に提出した。
- ・旅費交通費を新たに計上し、運用規定は今後詰める。
- ・環境支援委員会予算は一部H28に対して変更する（補助金等を計上）。
- ・日韓会議の残金は栃木県支部に配分される見通しである。（田仲）
使途については今後正式に決まった段階で協議する。

（意見）・今後の日韓会議参加のために一部を充当すれば、個人負担も軽減され参加し易くなるので検討していただきたい。

- ・使途については本部と協議する必要あり。

- ・最終収支は変わる予定。繰越は未計上である。

②電話設置（事務所移転）について（黒須）

- ・支部電話（現：菅井前支部長宅）を新たに設置する。
（フレッツ光、維持費約4万円／年）
- ・支部事務所の移転について、現在作新大学と調整中のため詳細は運用段階で再度協議する。
- ・12月に支部長他で理事長に特別講座の提案をしている。講師陣を支部員に対し今後照会していく。
- ・事務所の借用について大学事務方は 難色を示したが再度説明後、前向き検討してくれることになった。NPO 法人栃木県防災士会と相部屋になる可能性がある（今後調整）。

③役員改選（黒須）

- ・立候補希望者は届出書を2月16日までに提出する（黒須総務委員長まで）。
本部締め切りは2月20日。押印付き届出書と記載事項経歴書の提出は後日連絡する。（確認書は提出不要）
- ・立候補年齢は支部内規を（立候補時点で75才以下）遵守する。
- ・役員数は欠員が出ないようにする。
- ・支部長経験者（3年以上）は顧問（仮称）として役員に残れるよう西村常務に打診

中（8県支部）だが回答は無い。 ➡ 支部内規で運用する。

・作新大学リスクマネジメント委員は小黒、川上両役員が継続する。

（2）企画・研修委員会

①技術士を志す方への情報提供講座について（宮下）

・2月22日（水）土木学会栃木会と共催。支部会員、協賛団体等に周知する。

②見学会・講演会について（宮下）

・案を作成中のためご意見をいただきたい。

③年次大会・技術士第二次合格者祝賀会について（宮下）

・新合格者祝賀会案内は例年通り対象者に通知する。

・来賓として関東の各県支部長、本部役員を来賓として呼ぶ提案があったが、引続いて前向きに検討する。

・講演者は香川県支部長に打診する。

（3）国際委員会

①浙江省水利庁との技術交流について（福田）

・支部と浙江同済科技職業学院との技術交流（今秋に覚書）は、支部として前向きに対応していく。

・窓口は国際委員会。

（意見）ミスマッチングにならないよう交流内容を十分調整すること。特に汚水処理については注意が必要。

3 報告事項

（1）企画・研修委員会

修習科学技術講演会報告について（宮下）

・都内開催のため支部として対応はしない。

（2）業務委員会（篠原）

① 幹旋業務受託希望者名簿について

・外部団体からの技術士要請に備え受託可能者名簿作成した。

・16名の登録となったが、技術士要請の際には登録者より紹介する。昨年は、6件の要請があった。

・登録者は、県関連団体、銀行等のイベントにて講演会など行い自己PRに努め、業務発掘を行う。

②業務委員会活動報告(3件)について

・保証協会より金融機関の中小企業融資の際に必要な事業評価に関する協力を要請された。

・とりあえず、機械部門（渡辺）、経営工学部門（平間）、農業部門（篠原）の評価書案を作成することとした。

・評価書案作成後、栃銀、足銀、保証協会と調整を行う。建設業関係の事業評価書は、1回目調整後考える。

（3）国際委員会

① 第46回日韓技術士国際会議決算報告について（福田）

- ・収支決算で収支差額がでるとのことである。その取扱いは今後本部が決定することになるが、支部に全額配分していただくよう機会あるごとに要望している。
- ・2月15日（水）に最終の日韓技術士運営委員会を開催する。

以 上

議事録 署名人

支部長 小黒 幸市 _____

議事録署名人 黒須 重富 _____

議事録署名人 稲葉 茂 _____

書 記 福田 一郎 _____